

先日、臨床発達心理士を講師とし「子どもの幸福感」に関しての研修を受けてきました。内容としては、幸せは貯めておくことができず、毎日0からスタートするのと、そして幸せは神経伝達物質のセロトニン（健康）、オキシトシン（つながり）、ドーパミン（やる気）の質と量で決まるということ...

この3つの神経物質を高める方法として、それぞれいくつかの方法が示されていました。例えばセロトニンを高めるにはひなたぼっこが効果的、オキシトシンはほほえむ、触れること、ドーパミンは運動すること...

もちろんほめることはとても大切で、心から思うことはどんどん声を掛けてあげるといいと思います。ただ、ほめるという言葉だけ独り歩きしてないか。「すごいね」「じょうず」とほめれば良いでしょうか...

で、5月の園だよりで浅田理事長が書いていたように、「共感する」と、そして今月書かれている「聴く」ことが大切になってくるように思います。子どもの様子を見て、一緒に行動して、同じ目線で捉えて、気持ちに『共感』して思いを『聴いて』、その子の存在を『認める』ことが、小手先のほめる言葉よりも効果的なのではないかと感じています。子どもも大人も、存在を認められて育つと思います。

園長 梶原 秀一

今月の予定

筑波登山遠足<年長児>

10/4 (金)

「西の富士、東の筑波」と並び称される筑波山を年長児が登ります！年長児のご家庭は手紙をよく読んで、準備をお願いしますね。他の学年の皆さんは通常通りの登園となります。

リトミック

10/9 (水)

中島先生とのリトミックです。中島先生の明るく、ハツラツとしたご指導で、子どもたちも楽しく身体を動かしています！

※年間行事予定から変更しています

交通安全教室

10/11 (金)

今回は「安全な歩き方」をテーマにして教えていただきます。大型紙芝居など手作りの教材は我々も勉強になります。

おべんとうデー

10/16 (水)

子どもたちが大好きなお弁当の日です！みんな嬉しそうに「みて〜」と自慢しあっていますよ！

わくわくフェスティバル

10/19 (土)

皆さんで心を弾ませて、わくわくとした楽しい時間を過ごしましょう！かけっこをしたり、遊戯をしたりと子どもたちの気持ちは段々盛り上がっています！

カレーライスの日

10/23 (水)

それぞれの学年がみんなで力を合わせて作ります。0、1歳の子どもたちも野外調理しているかまどの火をじっと見つめてみたり、鍋の中のカレーから漂う匂いをかいで喜んだりと五感を通してこの日を過ごしています。※年間行事予定から変更しています

誕生会

10/31 (木) 10:00~

10月生まれのお友だちの誕生会です！毎月、職員が子どもたちの喜ぶ姿を想像しながら出し物を考え、練習しています。今月の出し物のプレゼントをお楽しみに！

★ココロライブラリーについて

主に保護者会費で絵本を購入させていただいております。親子での読み聞かせにどんどんご活用ください。利用の際は下記のことをご確認ください。

- ・絵本の破損があった場合は、家庭では修復せずに園までお知らせください。
・絵本を返却の際は必ず近くにいる職員に手渡しをお願いします。事務室カウンターに置いてある場合がありますが、確実に返却が確認できるようにご協力をお願いいたします。
・ご家庭ではお家の方もお子さんと一緒にお楽しみください。

★体調不良について

これからの季節、下痢・嘔吐などの症状が流行り始めます。感染性の病気の場合、自分の体調をうまく訴えられない、また、排泄が確立していない子どもたちが生活する保育園では、あっという間に広がっていきます。下痢・嘔吐が出た場合は必ず医師に相談し、許可が出た上での登園をお願いいたします。集団感染を防ぐためにもご理解をよろしくをお願いいたします。

☆歯科検診・内科検診のお知らせ

歯科検診 11月21日(木) 14:00~
内科検診 11月26日(火) 14:30~
どうぞご承知おきください。

☆プールバッグのご協力

ありがとうございます！

今年は長引いた暑さで、例年よりも長くプール遊びをすることができました。天気が良い日はなるべく毎日プール遊びをすることで、子どもたちが楽しく過ごせるように対応してきましたが、これも全ては毎回プールバッグを持ち帰り、次の日すぐに持参してくださった保護者の皆様のお陰です。子どもたちのために本当にありがとうございました！

☆園内空調設備入れ替え工事のお知らせ

空調設備の入れ替え工事を予定しております。各クラス工事に伴い、生活する保育室が変わる場合があります。工事日程が分かり次第、お知らせいたします。

「聴く」こと

幼児教育の基本は、幼児理解と全面的受容であると思います。勝手にその子のことを思い込まず、分からなくとも子どもの言動からその子のことを理解しようと努めることが大切です。そして、まずはありのままその子のことを受け入れることです。全面的受容は、決してわがままをそのまま受け入れたり、ルールに反することを認めることではなく、生育歴や、その子の置かれている現状を含めて全てをまず受容することからスタートします。思い込みや先入観を排して、その子を理解しようとする、近寄って来てたどたどしい言葉ながら色々話して来ます。幼児理解は、その子を見守り、寄り添い、待ち、耳を傾けることが大切です。▼時折、テレビや雑誌の「聞き上手」のインタビューのことが紹介されます。人から話を引き出すテクニクなどを語っていますが、相手に心から相槌を打つ、穏やかな表情でゆったりと聴き、話している最中に口を挟まず、など参考になります。▼Fちゃんは、私を見つけると、私が気づかないうちに、そっと近づいてきて、静かに私の手を握ります。暴れん坊のグループも私を見つけると闘いごっこを挑んできて、パンチやキックをして来ます。そうなる、おとなしいFちゃんは、引き下がる

引き下がるしかありません。ですから、Fちゃんは、私を先に見つけると、「こつちに行こう」と、誰にも見つからない入口近くのベンチに私を誘います。ベンチに座ると、私に寄り添い膝に手を置いていろいろなことを話します。言っている事の半分位しか分かりませんが、家のこと、クラスのこと、家族で出かけたこと、あらゆることを話します。私はただ「ウンウン」とうなずいて聞いています。Fちゃんはそれだけでも嬉しそうです。そして、決まって「給食と一緒に食べようね」と言います。「約束だよ！」と念を押します。お昼になると、迎えに来ます。クラスに行く、私の席を、自分の隣に確保してあります。クラスの暴れん坊グループが「ずるいぞ、こつち来て座って」と口を尖がらせま

理事長 浅田 精利